

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成17年8月18日(2005.8.18)

【公開番号】特開2003-231218(P2003-231218A)

【公開日】平成15年8月19日(2003.8.19)

【出願番号】特願2002-29674(P2002-29674)

【国際特許分類第7版】

B 3 2 B 27/16

B 0 5 D 7/04

B 0 5 D 7/24

B 2 9 C 45/14

C 0 8 F 299/00

C 0 8 G 59/34

【F I】

B 3 2 B 27/16 1 0 1

B 0 5 D 7/04

B 0 5 D 7/24 3 0 1 T

B 2 9 C 45/14

C 0 8 F 299/00

C 0 8 G 59/34

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月31日(2005.1.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】光硬化性シートの製造法

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

側鎖に光重合性官能基を有する熱可塑性樹脂(a-1)および光重合開始剤(a-2)を含有する光硬化性樹脂組成物(A)および溶剤(S)を含む混合溶液を基材シート(B)上に塗工する工程および塗工後の基材シート(B)を加熱して溶剤(S)を揮発させる工程を含む、光硬化性樹脂組成物(A)の層と基材シート(B)とを含む光硬化性シートの製造方法であって、溶剤(S)がアルコール系溶剤および/または脂肪族炭化水素系溶剤を含むことを特徴とする方法。

【請求項2】

光硬化性樹脂組成物(A)が、さらに無機微粒子(a-3)を含む、請求項1のいずれかに記載の方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記課題を解決するため、側鎖に光重合性官能基を有する熱可塑性樹脂(a - 1)および光重合開始剤(a - 2)を含有する光硬化性樹脂組成物(A)および溶剤(S)を含む混合溶液を基材シート(B)上に塗工する工程および塗工後の基材シート(B)を加熱して溶剤(S)を揮発させる工程を含む、光硬化性樹脂組成物(A)の層と基材シート(B)とを含む光硬化性シートの製造方法であって、溶剤(S)がアルコール系溶剤および/または脂肪族炭化水素系溶剤を含むことを特徴とする方法を提供する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

